

平成 29 年 12 月 22 日

公益社団法人 日本地すべり学会
会 長 落合 博貴 殿

公益社団法人 日本地すべり学会
関東支部長 櫻井 正明

若手対策費（会員数対策 WG 計上分）支出事業の報告について

標記の件について、下記のとおり、報告します。

記

事業名：「基礎技術現地見学会・講習会」

事業内容：

事業内容は、次のとおりであり、詳細は別紙の報告のとおりである。

①若手会員等の関東支部行事への参加推進キャンペーン

内容：

- 1) 関東支部の学生会員・若手正会員への案内状の送付 3 回
対象者 39 名、3 回送付（7 月、9 月、10 月）
- 2) 現地検討会（2 回）の参加費減額（参加費を食事代相当額の 1000 円とする）
第 1 回現地検討会（群馬県柿平 8 月 3 日 19 名） 0 名
第 2 回現地検討会（栃木県芹沢地区 10 月 18 日 11 名） 1 名

②地すべりの基礎を学ぶための現地見学会

期日：平成 29 年 9 月 22 日（金）10:00-16:30

場所：神奈川県相模原市緑区名倉地内、藤野中央公民館（神奈川県）

内容（参加者 35 名）：

- 1) 座学：地すべりの基礎（上野将司）
- 2) 現地見学：平成 23 年 9 月豪雨により地すべり活動がみられた名倉地区の現地踏査
- 3) 座学：質疑応答・調査観測機器について

③地すべりを学ぶ座談会 2017

期日：平成 29 年 11 月 8 日（水）14:00-17:00

場所：TKP スター貸会議室東京駅八重洲 301（東京都）

内容（参加者 16 名）：

- 1) 話題提供：地すべりの調査・研究の進め方（上野将司）
- 2) 参加者からの話題提供及び質疑応答・意見交換

支出：

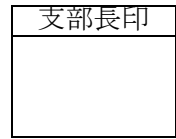
科目	①キャンペーン	②現地見学会	③座談会	計
旅費交通費	0	17,070	0	17,070
諸謝金	0	34,000		34,000
印刷製本費	0	350	0	350
消耗品	0	0	0	0
その他	0	26,810	47,972	74,782
計	0	78,230	47,972	126,202

①の経費については、支部経費と区分できないことから、記載しなかった（支部負担）。

別紙2 (報告)

公益社団法人 日本地すべり学会
 会 長 落合 博貴 殿

平成 29 年 12 月 4 日
 公益社団法人 日本地すべり学会
 関東支部長 櫻井正明



若手対策費 (会員数対策 WG 計上分) 支出事業の報告

関東支部は次の活動に表題の事業経費を用いた。

参加者 (実際)	総計 1 名【会員】若手 1 名 ベテラン 1 名 【非学会員】 1 名 若手のうち、公募参加者 名、声がけ参加者 名
実施内容	基礎技術現地見学会・講習会① 若手会員等の関東支部行事への参加推進キャンペーン 関東支部行事への参加推進を図るために、関東支部所属の学生会員、若手正会員 (39 名) に案内状を 3 回送付したほか、現地検討会 (8 月、10 月) の参加費を減額したが (4000 円→食事代相当額 1000 円)、減額の適用をうけた会員はほとんどいなかかった。
所感	1 得られたノウハウ 参加費減額の適用を受けた学生会員・若手正会員は、ほとんどおらず、参加費が大きな障害となっていないと考えられる。 2 主催者の意見など ・支部行事について、若手会員の興味を持ってもらえるテーマの選択を考えていくとともに、行事の内容の質的な向上を図っていくことが重要である。 ・若手会員はもともと数が少なく、学会の会員数増加につなげることを目的とすると、若手会員だけに絞った行事ではなく、非会員も含めた幅広い層を対象とすることが重要である。 *②現地見学会、③座談会については、会員、年齢等に制約を設けずに実施している。
HP・FB 掲載	<input checked="" type="checkbox"/> 可 否 可の場合、できれば掲載可能な写真を送って下さい。

※記載例を消して記載

支出明細

科目	金額 (円)	内容
旅費交通費	0	
諸謝金	0	
印刷製本費	0	
消耗品	0	
その他 ()	0	参加費減額分 (3000 円)、郵送料は、支部経費と区分できないので支部負担とする

別紙2 (報告)

公益社団法人 日本地すべり学会
 会 長 落合 博貴 殿

平成 29 年 12 月 4 日
 公益社団法人 日本地すべり学会
 関東支部長 櫻井 正明

支部長印

若手対策費 (会員数対策 WG 計上分) 支出事業の報告

関東支部は次の活動に表題の事業経費を用いた。

参加者 (実際)	総計 35 名【会員】若手 3 名 ベテラン 2 名 スタッフ 5 名 計 10 名 【非学会員】若手 22 名 ベテラン 3 名 計 25 名 若手 25 名のうち、公募参加者 22 名、声かけ参加者 3 名
実施内容	基礎技術現地見学会・講習会② 地すべりの基礎を学ぶための現地見学会 (平成 29 年 9 月 23 日) 現地見学会は、地すべりに関心のある学生や、地すべりに関する基礎知識を深めたい技術者を対象に行った。午前中の講義では「地すべり調査に際して役立つ知識」と題して地すべりの基礎を聞いてもらい、午後の現地見学では、神奈川県相模原市の名倉地区の実際の地すべり現象や防止対策の状況を見てもらった。その後、地すべり調査に用いる観測機器に触れてもらい、活発な質疑を行った。 現地では、相模湖沿いの更新世段丘堆積物が分布する集水地形で発生した地すべり変状と、対策施設の集水井や排水ボーリングなど地下水排除の対策工などを見てもらった。
所感	1 得られたノウハウ ・基礎を学ぶ観点で、講義→現地見学→観測機器に触れるという内容が良かった。 2 参加者の感想 ・午前・午後ともに実戦的な内容で面白く有意義であった。 ・講義後に現場を見ることで意識することができ、地すべりの基礎知識を学べた。 ・経験を積む機会となり、参考になった。 ・被害の予測や実態把握は困難で、予見・観測体制の確保は必要な知識と痛感した。 3 主催者の意見など。 ・20代の参加者がほとんどであり、若手主体の事業となり、有意義であった。 ・質疑応答では活発な議論が行われ非常に有意義な機会となった。
HP・FB 掲載	<input checked="" type="radio"/> 可 否 可の場合、できれば掲載可能な写真を送って下さい。

※記載例を消して記載

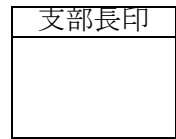
支出明細

科目	金額 (円)	内容
旅費交通費	17,070	レンタカー代、ガソリン代、高速代
諸謝金	0	③座談会に統合
印刷製本費	350	コピー代
消耗品	0	
その他 ()	26,810	保険料、会場費、宅急便代、郵送代

別紙2（報告）

公益社団法人 日本地すべり学会
 会 長 落合 博貴 殿

平成 29 年 12 月 4 日
 公益社団法人 日本地すべり学会
 関東支部長 櫻井正明



若手対策費（会員数対策 WG 計上分）支出事業の報告

関東支部は次の活動に表題の事業経費を用いた。

参加者（実際）	総計 16 名【会員】若手 2 名 ベテラン 5 名 スタッフ等 7 名 計 14 名 【非学会員】 若手 1 名 ベテラン 1 名 計 2 名 若手 3 名のうち、公募参加者 3 名、声かけ参加者 0 名
実施内容	基礎技術現地見学会・講習会③ 地すべりを学ぶ座談会 2017（平成 29 年 11 月 8 日） 「地すべりを学ぶ座談会」と題して、関東支部技術委員の上野将司氏による講義に加えて、事前に参加者から募集した疑問等に対する座談会形式の意見交換を行った。上野氏の講義では「地すべりの調査・研究の進め方」として、講師のご経験を踏まえた地形・地質・地下水・現地調査・すべり面等に関する調査や研究について網羅的な解説をしていただいた。また、座談会では、募集した疑問等について上野氏や参加者同士の間で、各位の経験や知識を踏まえたアドバイスや意見交換・情報共有がなされた。
所感	1 得られたノウハウ ・参加者に能動的に参加してもらった講習会を企画し、活発な意見交換が行われた。 2 参加者の感想 ・若い人には役に立つ良い機会だったと思うし、自分も勉強になった。 ・地すべりの調査研究に役立つリンク集が学会 HP にあるとよい。 3 主催者の意見など。 ・座談会自体は盛り上がりよかったです。若手や非会員の参加者が少なかったことが反省点です。 ・一方で、数は少なかったですが今回気象関係の ML に案内を転送してもらったこともあって、気象予報士の方を含め非会員の方が 4 名（2 名は欠席）申し込んでくださいました。 ・気象関係の方では、災害の予測・回避ないし気象警報や土砂災害関連の避難勧告の精度向上につながるような研究がなされているか？という点に興味があるようでした。
HP・FB 掲載	<input checked="" type="checkbox"/> 可 否 可の場合、できれば掲載可能な写真を送って下さい。

支出明細

科目	金額（円）	内容
旅費交通費	0	
諸謝金	34,000	②現地見学会と統合
印刷製本費	0	
消耗品	0	
その他（ ）	47,972	会議室料、振替手数料、郵送料

【参考】関東支部の会員構成

区分		支部会員数	百分率
学生会員	—	11	3%
正会員（個人）	20～29歳	7	2%
	30～39歳	47	12%
	40～49歳	107	27%
	50～59歳	115	29%
	60～69歳	70	18%
	70～79歳	19	5%
	80～89歳	6	2%
	90歳以上	0	0%
	年齢不明	16	4%
	計	387	
計		398	